

平成30年度 中学部校内実習

中学部校内実習が、平成30年11月5日（月）～16日（金）の10日間行われました。

実習には32名の生徒が参加し、紙工班・家庭生活班・木工班の3班に分かれ実習に取り組みました。

中学部の校内実習では、将来働くことを意識し「休まずに長い時間取り組む」「丁寧な言葉づかいであいさつ、返事、報告をする」「準備、活動、片付けに自分から取り組む」「集中して丁寧な製品を作る」の目標を立てて活動しました。2週間の実習では、普段行っている作業学習の経験を生かし、それぞれの目標に向かって一生懸命努力する姿が見られ、大きな成長を感じました。普段の作業とはまた違う環境の中で、一人一人が働くことの厳しさや楽しさを感じ取り、自分たちで心を込めて製品を仕上げる喜びや達成感を感じることのできる良い経験となりました。

紙工班（縫製紙工室）

太陽祭で注文を受けた製品の製作を行いました。「丁寧な製品を作ることを意識しよう」と目標を立て、パルプを細かくちぎる、ミキサーを使った仕事以外にも、タオルたたみ・タオル干し・アクリル板ふき・計量等業務を分担して作業しました。

実習期間中に受けた分の製品を作り終え、お届けすることができました。



家庭生活班(生活訓練室)

10名の生徒が、校内実習に先立ち注文を受け、コースターとガーゼマスクの製作をしました。

使う人のことを考えて、衛生面に注意をして作業に取り組みました。注文を受けたものはすべて出来上がり、上手にできたことを喜び合いました。



木工班(木工室)

13名の生徒が花台の製作をしました。「きれいな製品を作ろう」「報告をしっかりとやろう」「げがをしないようにしよう」と目標持って、やすりがけや組み立て、オイル塗装に取り組みました。

40台以上の花台を完成させ、11月20日(火)明成高校販売会で完売することができました。

